

## 第2回 柏市文化財保存活用地域計画作成協議会 会議録

### ◇開催日時

令和元年11月27日(水) 14時00分～15時30分

### ◇開催場所

沼南庁舎5階 大会議室

(名) = 発言者

### ◇報告(事務局)

#### (1) 上半期の事前把握調査及び今後の調査方針

- ・これまで柏市内で行われた各分野各種調査記録の取りまとめを行った。地域や調査項目に漏れがないか上半期に確認したので、今後下半期に調査を行う。
- ・調査の内容は分野ごとに協議会の中で調査委員を設置し、調査をお願いしているところである。基本的には柏市文化財保護委員会(審議会)の委員、また委員の紹介の方々に補助をお願いする。調査員については随時追加していく予定である。

#### ①. 建造物、近代遺産

#### ②. 無形文化財、民俗文化財

#### ③. 名勝、天然記念物

#### ④. 美術工芸品

#### ⑤. 史跡、考古資料

#### ⑥. 歴史、古文書

### ◇議題

#### (1) 行政計画や関連事業との連携(事務局)

##### 【質疑・意見】

- ・上位計画に景観計画が含まれるが、景観の視点がこの調査の中でどこに該当するのか。
- (事務局) 建造物と名勝・天然記念物で連携しながら景観の担当をしていくことにはなっている。
- ・(委員) 景観計画についてコメントする。7つの地域の位置づけが決められているとのことだが、地域計画は既にある景観計画を補強する、重ねられる成果を示せると良い。抽出をし登録をしていく中で災害が出たらどうするのか、防災や災害復旧についても考えていく必要がある。
- ・(事務局) 景観計画への文化財の関わり方は地域計画での文化財保存活用区域があるか。
- (委員) そう言うことでも良いし、その他にも関係づけられれば市の中で整合性が高まる。景観計画の中で文化財との関連が高いエリアを文化財側で検証することがあっても良いのではないか。

- (委員) 景観計画に基づき景観を広めていく活動の中の一つで昨年までの 12 年間に柏市景観賞を行っていた。
- (委員) “柏らしさ”のアイコンになるものがなかなか浮かばないのであるが、コンテストなどから探し出すことができるのではないか。
- (委員) 本計画は 3 年の期間があるが、市民による写真などの募集を、ここからスタートするという形で締め切りを設けず進めていくこともありではないか。
- ・ (委員) 関連事業について、教育振興計画とも恐らくあるので関連付けることを望む。

## (2) シンポジウム及びワークショップ (案) (コンサル)

- ・ワークショップを来年度に 2 回、シンポジウムを再来年度 1 回予定している。市民の文化財への関心が高まる仕掛けになり、地域計画の普及啓発にもなると良いと考えている。

### 【質疑・意見】

- ・ (委員) ワークショップの具体的なイメージはどのようなか。
- (コンサル) 例えば建造物だが、地域の皆さんと歩いて集落内の残したい歴史や自慢したいところを探して地域おこしに役立てる方法を話合うことを想定している。
- (委員) 県指定の篠籠田の三匹獅子舞の保存会を行っているが、継承については切迫しており意見交換どころではなく来年は出来ないのではないかという状況である。副会長と、篠籠田に限らず柏に間口を広げるため公募しようかと話している。
- (委員) 子供たちに町の価値を知ってもらうことを学校教育で、小学校中学校はつながりを持ってできると良い。学校にクラブを作ったのは名案で、支える地元の人がいるからできたのではないかと思う。
- ・ (委員) 市の中で部門計画は 100 本以上あるが、それらをすべて束ねるのは難しい。今は横断的な分野を 7 つ設定している、例えば文化は現在「地域のちから」に入る、が、分野別の取組みをしっかりと総合計画を作る中で議論してもらい、部単位になる部門計画の事業の実施などは部局に委ねようと思っている。
- ・ (委員) 手賀沼アグリビジネスパーク事業の構想では道の駅しょうなんを入口とし手賀沼周辺で活性化できないかと考えている。

## (3) 今後のスケジュールについて (事務局)

- ・令和 2 年の 4 月から 5 月に計画の骨子を文化庁へ報告するが、内容は目次や素案であるが次回第 3 回会議ではその途中経過を報告する。
- ・調査については年度末に取りまとめを行う。
- ・ワークショップを開催し、市民の方々の感触を見ながら 2 回に限らず行い、意見を伺えると良いと考えている。